

インターディシプリナリーアプローチにおける 矯正歯科治療の役割と意義



講師

川鍋 仁 先生

奥羽大学 成長発育歯学講座 歯科矯正学分野 教授

福島県立医科大学 医学部 形成外科学講座 特任教授

DATE & TIME

September 30, 2026

6:00 PM - 8:00 PM

VENUE

拡大講義室 I

岡山大学

我が国は超高齢社会に突入し、矯正歯科治療を希望する患者層の高齢化が顕著となっている。これに伴い、全身疾患を併存する症例や、歯周疾患やう蝕に起因する歯の欠損を有する症例が増加し、歯の移動性の低下や支持組織の脆弱化など、生物学的制約を踏まえた治療戦略の構築が求められている。したがって、単独の矯正治療にとどまらず、補綴・歯周・保存領域を含めた包括的治療計画の立案が不可欠である。

奥羽大学歯科矯正学分野では、このような複雑化した症例に対し、矯正歯科医を中心とした多診療科連携のもと、機能的かつ安定した咬合の確立を目的とした集学的アプローチを実践している。

また、顎変形症および口唇口蓋裂を対象とした臨床および基礎研究にも注力しており、成長発育を考慮した顎変形症の予防的介入や、口唇口蓋裂患児に対する早期治療介入プロトコルの確立を目指している。とくに、形態および機能の両立を志向した治療戦略の最適化に取り組んでいる。

本講演では、将来の歯科医療を担う歯学部学生を対象に、これらの臨床的取り組みおよび研究成果を概説し、包括的歯科医療における矯正歯科の役割と治療計画立案の重要性について考察する。